

## 完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施期間	平成17年度～平成21年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	あぶくまがわ 阿武隈川森林計画区 (福島県)	事業実施主体	関東森林管理局 福島森林管理署												
完了後経過年数	5年	管理主体	関東森林管理局 福島森林管理署												
事業の概要・目的	<p>当事業は、阿武隈川森林計画区に属する92千haの国有林野のうち、福島森林管理署が直接所管する58千haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区内の国有林野は、福島県の中央部の「中通り」地域に位置し、奥羽山脈と阿武隈山地に挟まれた平野部からその東西に広がる山岳地帯まで標高の変化に伴って様々な森林形態が見られ、当事業は当計画区の北部から中部にかけての国有林で実施したものである。</p> <p>このうち、茂庭地区等の奥地に位置する森林については、自然度の高い天然生林が広域に分布していることから自然環境の維持、保全が求められており、吾妻地区等の都市近郊に位置する森林については、森林とふれあえる場の提供が期待されている。また、上流域の森林は中通り各都市部の生活用水を始め、工業・農業用水の水源として重要な役割を果たしている。森林は、太平洋側植生域から日本海側植生域へ移行する地域まで広範な森林形態を有している。</p> <p>人工林の生育状況は全般的に良好であるが、気象、土壌等の自然条件が厳しいため一部に生育不良な林分も見られる。このような林分は、良質な木材の生産が困難な面はあるが、水源涵養機能等の維持、向上のため健全な森林状態に誘導することが求められている。</p> <p>従来から、当計画区の森林は、水源の涵養、山地災害の防止、木材等の林産物の供給等の機能の発揮を通じて、地域住民の生活と深く結びついてきたところであるが、近年、これらに加えて、保健・文化・教育的な利用の場の提供、良好な生活環境の保全等の機能の発揮、地球温暖化の防止や生物多様性の保全等、森林の持つ多面的機能の発揮に対する期待が高まっている。</p> <p>このような国民の期待に応え、森林の持つ多面的機能の持続的な発揮を確保していくため、本事業に取り組んだものである。</p> <p>具体的には、多面的機能を発揮するための基盤となる森林資源を整備するため、更新（地拵、植付）及び保育（下刈、つる切、除伐、保育間伐）等を実施するとともに、森林施業の効率的な実施に必要な路網整備（林道等の開設及び改良）を実施した。</p> <p>・主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>236ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,930ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.1km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>5.3km</td> </tr> </table> <p>・総事業費</p> <p>1,150,994千円</p>			森林整備	更新面積	236ha		保育面積	2,930ha	路網整備	開設延長	6.1km		改良延長	5.3km
森林整備	更新面積	236ha													
	保育面積	2,930ha													
路網整備	開設延長	6.1km													
	改良延長	5.3km													
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	平成27年度時点における費用対効果分析は以下のとおりである。														

	<p>総便益(B) 10,404,043千円 (事業採択時 9,483,639千円)</p> <p>総費用(C) 2,647,297千円 (事業採択時 4,759,844千円)</p> <p>分析結果(B/C) 3.93 (事業採択時 1.99)</p>
② 事業効果の発現状況	<p>本事業の実施により、森林が適正に整備され、水源の涵養や国土の保全等森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>また、事業は農山村地域における雇用の場を提供しており、地域の社会経済に貢献している。</p>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<p>林道等の開設及び改良により、これまで路網がないために施業が停滞した森林の整備が推進された。高性能林業機械による施業が定着している現在では、大型車両の通行は効率性の確保や事業コストの低減に資するものであり、労働安全の確保にも大きく貢献している。</p> <p>なお、整備された路網は、福島森林管理署において良好に維持、管理されている。</p>
④ 事業実施による環境の変化	<p>事業実施箇所では、林分密度が適正に管理されており、下層植生が発達し、森林の持つ水源の涵養、山地災害の防止等の公益的機能が発揮され、良好な森林の形成が図られつつある。</p> <p>また、周囲の森林と調和した森林整備により、良好な景観も確保されている。</p>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>東京電力福島第一原子力発電所の事故により影響を受けた森林・林業・木材産業の生産基盤の早期復興を図るため、県、市町村が計画する「ふくしま森林再生事業」と連携した「国有林野事業における放射性物質対処型森林・林業復興対策実証事業」に取り組んでおり、放射性物質の影響を受けた森林環境の回復を推進するとともに地域の生活基盤の復興に寄与することとしている。</p> <p>また、これらの対策とあわせた適正な森林整備の推進に加え、国産材の安定供給体制の構築や、再生可能エネルギーとしての木質バイオマスの利活用等を通じた木材需要の創出を図ることで、国産材需要の高まりによる就労者人口の増加が期待される。</p> <p>なお、国有林から産出される素材についても、平成26年12月17日に福島県から発出された「福島県民有林の伐採木の搬出に関する指針」の内容に準拠した対応を取ることとする。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、今後も適期に森林整備（更新及び保育）を実施するとともに、事業の実施に当たっては、作業効率の向上とコスト縮減の努力を続けることが必要である。</p> <p>森林資源は人工林を中心に本格的な利用が可能な段階に入りつつあり、地域の木材需要に応えるためにも、これまでの間伐を中心とした森林整備から、偏った齢級配置の平準化や森林の若返りのための主伐・再造林にも積極的に取り組む必要がある。</p> <p>また、「緑の雇用」事業などにより若齢層では改善の兆しがみられるものの、林産業就労者の確保は今後とも重要な課題であり、当該事業の実施等を通じて、林業事業体の育成や地域経済への貢献に資することが求められている。</p>
地元の意見:	<p>（<small>ふくしまけん</small>） （福島県）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られている。</li> </ul> <p>（<small>ふくしまし</small>） （福島市）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業コストを抑えた森林整備を実現するためにも国有林と民有林が一体となった森林整備が必要と考える。また、森林がもつ多面的機能が全体的に十分発</li> </ul>

	<p>揮されるよう森林整備事業を継続していただき、森林整備のみでなく林業全体の活性化や雇用創出に繋げてほしい。</p> <p>(桑折町)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より当町でも「ふくしま森林再生事業」における森林整備事業に本格的に取り組んでいくので、今後もより一層の情報の共有と連携を深めていきたい。</li> </ul> <p>(大玉村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全林野に占める国有林区域の割合が高い本村内において、保育のための森林整備が実施されたことは十分に評価できるものである。</li> </ul> <p>今後も同事業の継続と本村内の国有林の整備を要望する。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により水源涵養等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られ、事業の効果が発揮されていると認められる。</p> <p>今後も引き続き森林整備や路網の維持管理を適切に実施するとともに、事業を通して地域振興に貢献していくことが望まれる。</p>
<p>評価結果（案）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 本事業は、水源の涵養や国土の保全、保健文化及び地球温暖化等の公益的機能を発揮させるとともに、林産物の供給により地域振興に寄与することを目的とした事業であり、事業の必要性が認められた。</li> <li>・効率性： 事業の実施に当たっては、予算の範囲において、優先順位を付け、現地の状況に応じた事業内容及び作業仕様を採用し、コスト削減に努めており、費用対効果分析の結果からも効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 福島市を中心とする県北地域の水源地に位置し、良質な水資源を供給するだけでなく、良好な生活環境の維持に資する森林を整備したことにより、水源の涵養や国土の保全等の公益的機能の維持増進が図られ、引き続きその効果が発現されると見込まれることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul>

## 便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：福島県

施行箇所：阿武隈川森林計画区(福島森林管理署)

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	1,950,582	
	流域貯水便益	602,083	
	水質浄化便益	1,342,474	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,285,745	
環境保全便益	炭素固定便益	1,221,880	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	98,017	
	木材生産確保・増進便益	1,669,037	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	2,583	
	森林整備促進便益	231,642	
総 便 益 (B)		10,404,043	
総 費 用 (C)		2,647,297	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{10,404,043}{2,647,297}$		= 3.93

# 森林環境保全整備事業 阿武隈川森林計画区(福島県・福島森林管理署管内) 事業概要図

